

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員 }

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

令和 5 年度病虫害発生予察技術情報第 6 号について (送付)

このことについて、病虫害発生予察技術情報第 6 号 (オオムギ網斑病及びシロトビムシ類の防除の徹底について) を発表したので送付します。

昨年度、オオムギ網斑病の発生は平年よりやや多く、近年は恒常的に発生しています。本病は種子伝染性病害です。また、一部地域では小麦でシロトビムシ類の被害が発生しました。つきましては、両病虫害ともに種子消毒が効果的なので、種子消毒の徹底をお願いします。

技術情報第 6 号

- 1 対象作物：麦類
- 2 病虫害名：オオムギ網斑病、シロトビムシ類
- 3 発生地域：県下全域
- 4 発生状況

(1) オオムギ網斑病 (令和 4 年播き)

- ・オオムギ網斑病は、令和 5 年の 2 月 5 半旬調査で初確認された。3 月中旬から 4 月の気温が平年より高く、4 月の降水量も多く発生に好適な気象条件であったため、4 月以降の発生が拡大し、平年よりやや多かったと考えられる (図 1)。
- ・近年オオムギ網斑病の発生は、高い水準で推移している (図 2)。

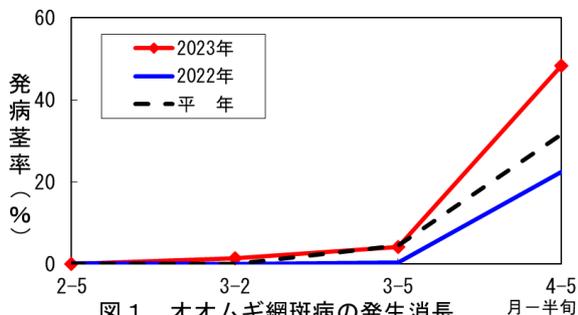


図 1 オオムギ網斑病の発生消長

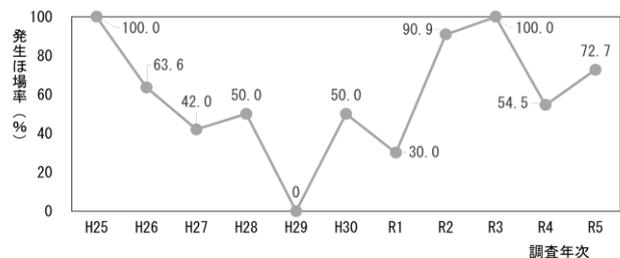


図 2 オオムギ網斑病発生ほ場率(4月5半旬)の推移

(2) シロトビムシ類

- ・令和5年11月に13地点でシロトビムシ類生息数調査を行ったところ、全ほ場において生息が確認された(表1)。

表1 令和5年シロトビムシ類生息数について
(単位：頭)

	前作の耕種概要	1㎡当たり虫数	調査地点数
1	水稲+小麦+水稲	538	5地点
2	水稲+小麦+大豆	656	2地点
3	大豆+小麦+水稲	594	5地点
4	大豆+小麦+大豆	470	1地点
	平均	572	13地点

※サンプリング概要

- ・サンプリング日：令和5年11月13日、14日
- ・1地点(1筆)当たり3ヶ所、30cm×30cm×10cm(深さ)で採取。
- ・水洗いにより浮遊してきた虫数を計測し、生息数とした。

5 防除上注意すべき事項

(1) オオムギ網斑病

- ・種子消毒を徹底し、健全種子を使用する。
- ・出芽時期が低温にあたると発生しやすいので、播種適期内で早めには種する。
- ・種子消毒剤としてトリフミン水和剤の効果が高い。
- ・茎立期(3月上旬頃)に発生を確認し、感染が広がっている場合は、出穂15日前～出穂期までに防除を行う。前年に発生したほ場は留意する。いずれも県ホームページに掲載している「令和5年度病害虫・雑草防除の手引き」を参照。

<URL:<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/bojonotebiki.html> (3 防除方法の試験成果等【3-1】普通作(病害虫)XI オオムギ網斑病の発生生態と防除対策 p43～44) >

- ・罹病残渣は、第一次伝染源となるため、水田化(たん水)して不活性化させる。

(2) シロトビムシ類

- ・登録薬剤による種子消毒を行う。
- ・被害は、低温で出芽が遅れた場合に発生しやすいので、播種適期内で早めには種する。
- ・覆土が厚くならないよう、浅播きにする。
- ・小麦での被害が大きいので、多発ほ場では可能であれば二条大麦を栽培する。

病害虫防除所のホームページでは、各種病害虫の発生状況を随時更新しています。

発生状況の把握や防除の参考にご活用下さい。

○福岡県病害虫防除所のホームページへのアクセス

URL: <http://www.jppn.ne.jp/fukuoka/> または右QRコード①



①

○X(旧Twitter)で定期情報や警報等発出をお知らせしています。

X(旧Twitter)の本アカウント(福岡県農作物病害虫情報)へのアクセス

URL: https://twitter.com/PPDPO_Fukuoka または右QRコード②



②